

# こんにちは 山田耕平 です

2012.11.1 93

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11  
TEL 090-9973-0941  
ホームページ  
http://yamadakohei.jp



## 都議団・地方議員団で東京都へ申し入れ 各保険料の負担軽減と財政支援の実施を

### 介護、国保、後期医療… 度重なる負担増に歯止めを

十月二十五日(木)東京都に対し、介護保険、国民健康保険、後期高齢者医療保険の各保険料の負担軽減のための財政支援などを求め、申し入れを行ないました。

党都議団、都内の地方議員団、党東京都委員会の六〇名以上が参加しました。吉田信夫都議会議員、上保まさたけ衆議院東京八区予定候補、杉並区議団の代表として私も参加しました。

### 深刻な実態が示される…

申し入れでは、各参加者から深刻な実態が示されました。介護、国保、後期医療の値上げが相次ぎ、払いたくても払えない状況や「受診抑制」の実態が全都で広がっており、住民の健康と命が脅かされています。



申し入れ書を手渡す吉田都議

負担軽減のため、都独自の財政施策や区市町村への財政支援、特養ホームの用地費助成などの対策を求めました。

## 各申し入れの概要

国に対し、「税と社会保障の一体改革」をやめるとともに、負担軽減をはかるための国庫負担の大幅な引き上げを要請すること。  
保険料軽減のため、都として独自の財政支援を行なうこと。  
都として、保険料・利用料の減免制度を創設・拡充すること。独自減免を実施している区市町村を支援すること。介護基盤整備を促進すること。特別養護老人ホームの用地費助成を復活し、都有地貸与制度を拡充すること。  
23区国保料の算定方式見直しにともなう経過措置(来年度から、大幅な負担増による激変緩和措置が無くなる)を来年度以降も継続すること。

## 申し入れ直後、石原都知事辞任 都の責務を果たし都民福祉向上へ

都の担当者は、介護基盤の整備の必要性については「同じ立場」と回答。また、国保料の負担が増加し続ける状況について「構造的な問題があることは認識している」と回答しましたが、「財政支援を行なう考えはない」としました。都の姿勢は不十分であり、都民の福祉向上に責任を果たすことが必要です。  
申し入れの直後には、石原都知事が辞任を表明。大型開発優先、社会保障切り下げなどを、都政で先行的に進め、都民に痛みを押し付けてきた都知事が、都政を踏み台として国政に挑戦することは許されません。  
石原都知事の辞任を契機に、今こそ、都民本位の政治に切り替える時です。

危険な通学路、横断歩道、交差点等々

# 安全な街づくりへ 地域ウォッチングを実施

## 住民要求の実現へ 交通危険個所を調査

この間、地域住民から寄せられている“危険な通学路”や“交差点”などの交通危険個所を調査しました。

地域の方の案内で、それぞれの場所を現地調査し、対応策を検討しました。

学校への登下校時、児童が車道にあふれてしまう歩道”、“信号の無い交差点”や西武線の開かずの踏切対策として、“南北自由通路（地下道）に活用できる可能性がある用地”など、住民要求や危険個所の実態が明らかになると共に、代替策も含めて検討しました。

今後、調査した現地状況を踏まえて、行政の担当者とも協議し、改善を要請します。



登下校時、児童が車道にあふれてしまう通学路（上）  
信号の無い交差点（左上）  
南北自由通路として活用の可能性がある用地（左）



## 育メン日誌

いやいや期、真っ最中！！

現在、息子は「いやいや期」真っ最中です。もっとも激しいのが、保育園への送りの時間です。「自転車から降りようとしないうとしない」「階段を登ろうとしないうとしない」「部屋に入ろうとしないうとしない」等々、朝の忙しい時間に、必死に格闘しています。

担任の先生の話では、「この時期はしょうがない」とのこと。しばらく、頑張ります！

実は、この担任の先生は、私が保育園児の頃にお世話になった方で、二代揃ってお世話になっています。不思議な感じです…。



保育園の廊下にて  
いやいや真っ最中（上）



たまにチラッと覗きます

その先生の話では、親子でも、かなり性格が違うとのこと。私の子どもの頃は「のんびり・おっとりタイプ」で、息子は「感情表現が豊かなタイプ」とのこと。

なんでも知っている先生の前では、頭が上がりません（笑）

## 区議会議員の仕事紹介 その4

### 地域の行事・催しへの参加

全ての議員に共通する仕事として、杉並区内各地域で行われる行事や催し物への参加が挙げられます。

区民の負託を受け選出された議員として、各地域の行事（小中学校の行事、福祉施設の催し、祭りやお神輿等々）に積極的に参加することも重要です。住民と直接、交流することにより、地域の課題や要求などを発見する機会にもなります。

日本共産党は杉並区内に6名の議員がいますが、広い杉並区に6名の議員団では、全ての範囲を受け持つには、まだまだ人数が足りない現状もあります。私も担当地域の端から端まで、自転車で30分以上かかります…。まさに、体力勝負です！今後、さらに議席を増やしていく必要がありますね。



母校「桃井第四小学校」の80周年記念式典に参加（上）  
ご近所のお神輿担ぎ（右）



住民と直接、触れ合う場として